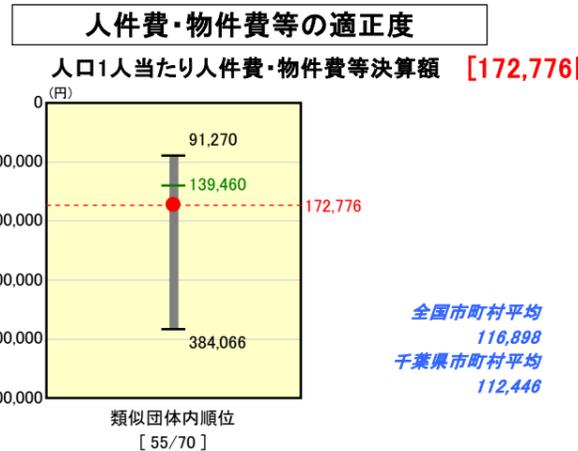
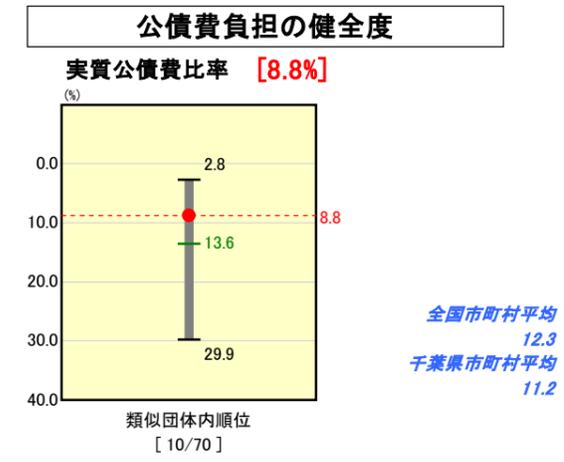
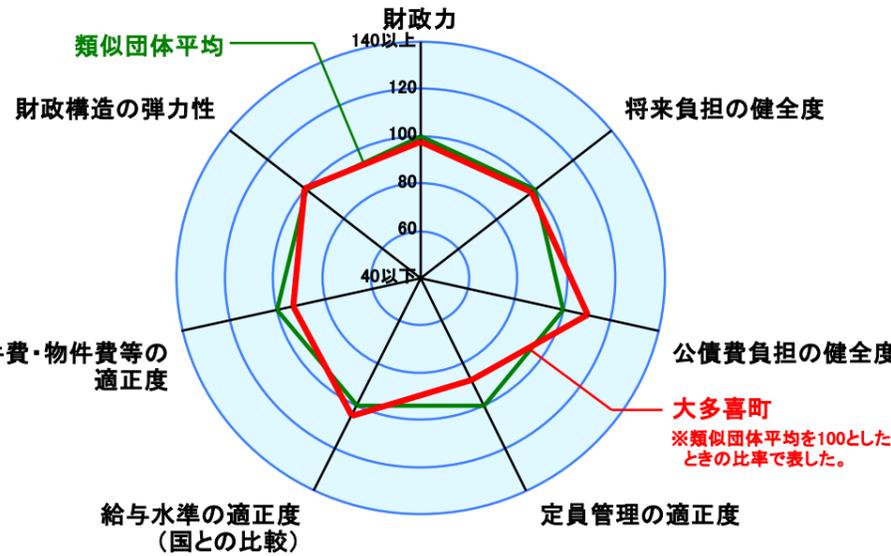
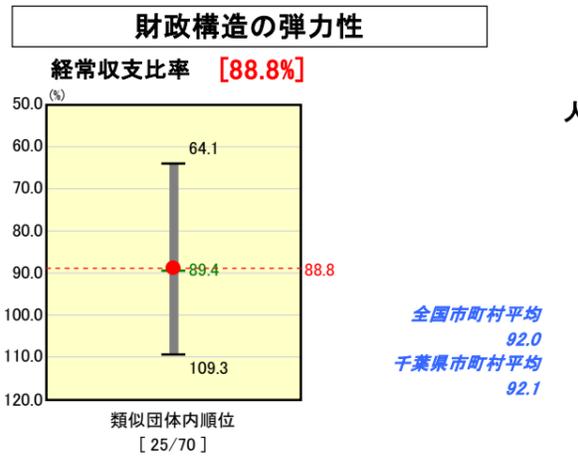
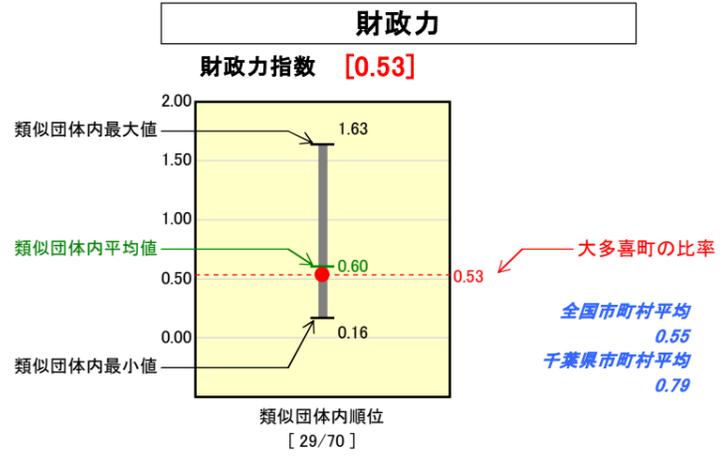


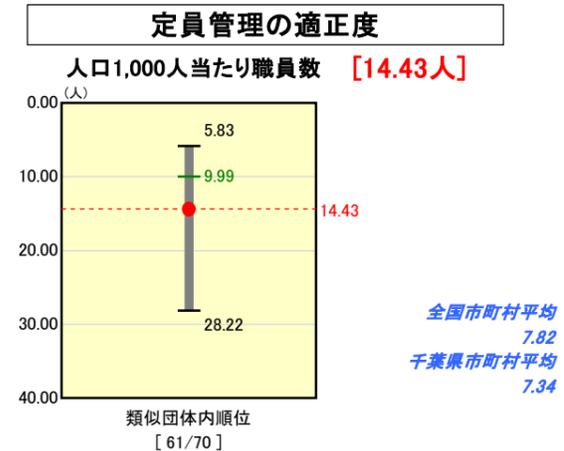
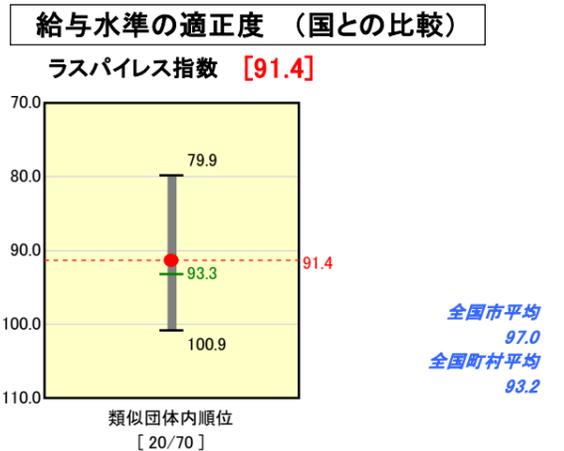
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 大多喜町

人口	11,015 人(H20.3.31現在)
面積	129.84 km ²
歳入総額	4,754,692 千円
歳出総額	4,541,557 千円
実質収支	195,285 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
・人口の減少や長引く景気低迷による個人・法人関係の税収の減などから類似団体平均を下回っている。さらに人口密度が類似団体平均の約半分という立地条件から行政の効率化が困難な状況にあるが、定員管理・給与の適正化による人件費の抑制(△4.2%対18年度比)、投資的経費の抑制(△14.1%対18年度比)を実施するとともに、地方税の徴収強化にとりくみ財政の健全化を図る。

○経常収支比率
・経常収支比率は昨年度に比べ1.5%改善され88.8%と類似団体平均(89.4%)を若干下回っている。これは、定員適正化計画の推進により人件費の割合が37.8%から34.9%に改善されたのが大きな要因となっている。しかし、類似団体平均(27.7%)と比べると未だ大きく上回っている。今後も計画の推進、事務事業の見直しを実施し、さらに経常経費の削減を図る。

○ラスパイレス指数
・給与体系を見直し適正化に努め、定員適正化計画に基づいた職員数の減等により、類似団体平均を下回っている。

○実質公債費比率
・大型投資事業の取捨選択の結果、類似団体平均を下回っているが、近年の推移を見ると増加の兆しが見られる。今後も新規発行債の抑制に努め実質公債費比率の急激な上昇を抑える。

○人口1人当たり地方債現在高
・類似団体、全国市町村、千葉県市町村平均のいずれも上回っている。これは、小中学校校舎、統合保育園の施設整備を主な要因とする。今後も義務教育施設の建築・改築事業が予定されており、さらなる増加が見込まれることから、他事業における地方債発行を抑制し、人口1人当たり地方債現在高の上昇を抑える。

○人口1,000人当たり職員数
・定員適正化計画の推進により職員数は年々減少しているが、未だ類似団体平均を大きく上回っている。今後も退職者分の不補充、業務の外部委託の推進、臨時職員の利活用等により正規職員の削減を図る。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
・前年度より若干改善はされているものの、類似団体平均を大きく上回っているのは、人件費が要因となっている。事務事業の見直しを中心とした組織の簡素化により、定員管理の適正化に努め、人件費の抑制を図る。